

# 第二地連新聞



発行責任者	第二地連議長	宣部
編集責任者	第二地連教員	宣部
発行所	東京労働二地	清組
発行日	2015年1月1日	
発行部数	第51号	



東京清掃労働組合  
TOEIEN JACO EST/1924 WASHOBUKU UNION

### 当面の予定

◎ 東京清掃2015団結旗開き	1月14日(水)	千代田区飯田橋
◎ 第二地連2015団結旗開き	1月28日(水)	台東区上野
◎ 第二地連2014年度年次総会	3月19日(木)	台東区清川

2015年第二地連4区5支部の仲間の皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年(賃金確定闘争期)は、私個人の膝関節手術による長期リタイアにより、第二地連三役、常任、各支部の皆さんには、地連運営に對したいへんご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

さて、安倍内閣は昨年12月、アベノミクスの継続を公約に掲げ衆議院を解散し、700億円もの税金を投入し、選挙を実施しました。結果、安倍内閣の継続を国民は選択することとなったわけですが、今の日本、年金、消費増税、原発推進、集团的自衛権等の大きな問題や、年々増え続ける非正規雇用問題、今年年収200万円以下の労働者は1120万人に達する状況

の中で、これからの生活が豊かになるのか、はなはだ疑問が残るばかりです。

我々を取り巻く状況も、年々繰り返される賃下げ攻撃、車付雇上等による委託化の波、今後の清掃事業の将来に對し、不安と焦りを感じざるを得ません。

今後、東京清掃の命運を賭け、本部、地連、支部全体の一体となった取り組みが重要です。2020年東京オリンピックを控え、首都東京の資源循環型事業を確立し、リサイクル型都市東京をさらに進めていく必要があります。区民密着型の清掃事業を柱に、環境、福祉、そしてこれからの子どもたちのため、新規事業の拡大、新規採用の獲得等に向け、本部、地連、支部間の情報の共有をさらに密にすることが求められます。

昨年、昭和を代表する大スター、高倉健、菅原文太さんがこの世を去りました。

平成の時代、危険ドラッグ等、薬物が蔓延し、日々のニュースでは殺人事件をはじめ、凶悪事件が報道されるなかで、人間としての義理、人情、そして人を思いやる気持ちを持ち合わせたスターが去り、ひとつの時代が終わった気がします。平和を願い、戦争を憎み、人を思いやる大切さ、何か組合活動と重なる部分があるように思えてなりません。

私自身、不器用な人間ですが、今年一年、改めて人を思いやる気持ちを持ちがんばっていきたいと思います。今年もよろしくお願ひします。

第二地連議長 金子寿夫





一面トップ記事、第二地連金子議長による新年の挨拶に続き、第二地連青年部・野口議長、および第二地連4区5支部の代表(委員長等)からそれぞれ、昨年を振り返っての今年の抱負など、挨拶をいただきましたので、以下ご紹介します。(編)

## 青年部第二地連 議長・野口貴史

あけましておめでとう  
ございます。また繁忙期  
作業大変お疲れ様です。  
我々青年部を取り巻く  
状況は年々厳しいものと  
なっており、退職不補充  
の方針の下、青年部は減  
少の一途となつていま  
す。その中でこの間、台  
東・文京支部で新規採用  
があり、新しい仲間が増  
えました。しかしその他  
の支部では約10年以上新  
規採用がありません。こ  
ういった状況の中これか  
ら約30年働き続けられる  
のか不安で一杯です。  
その中で地連青年部の  
役員体制が変わり、若い  
メンバーを新たに加え、  
心機一転して更に団結を  
深めていく所存です。  
これから先、清掃事業  
としての職を守り、職の  
レベルアップを図ると共  
に、地連内での学習・交  
流等で横のつながりを一  
層強化していく事を再確  
認し、「新規採用獲得」  
「退職まで安心して働き  
続けられる職場」「生命  
と権利を守る」事を目指  
していきます。引き続き  
本年もよろしくお願いま  
します。共に頑張りま  
しょう!

## 北工場支部

## 委員長・青木一吉



あけましておめでとう  
ございます。  
昨年は、若干のベース  
アップ&勤勉手当増額が  
ありましたが、最近のニ  
ューズを見てみると、食  
料品から日用品まであり  
とあらゆる物の値上げが  
報道されています。  
我々は10数年間、給料

カットが続き、厳しい生  
活を強いられています。  
今年こそは、大手民間企  
業並に大幅なベースアッ  
プ&期末手当の増額を勝  
ち取れるように当局と闘  
つていく決意です。  
昨年、若干増額された  
勤勉手当も色々な問題点  
があります。当局の都合  
の良い評価基準で格付け  
され、職員同士で配分を  
取り合うような制度は、  
私たちチームワークで成  
り立っている職場には馴  
染みません。即刻、勤勉  
手当を期末手当に組み込  
むように声を上げていこ  
うと考えています。  
また、昨年本給がカッ  
トされた分地域手当で補  
充されましたが、地域手  
当も23区に勤めている我  
々には必要のない制度だ  
と考えます。この地域手  
当においても本給に組み  
込むよう、粘り強く交渉  
したいと思えます。  
他にも問題が山積して  
いますが、地連の皆さん  
と情報を共有し、一緒に  
闘っていきたくと考えて  
おりますので、どうぞ、  
一年間よろしくお願いま  
します。



# 荒川支部

## 委員長・恵良伸介

あけましておめでとうございます。荒川支部で委員長をさせていただきます。2015年が始まり

ました。昨年の荒川支部は怪我、病气、事故等が多く崇られています。これにより他の区議会議員達も清掃事業に関心をもち始め、質問された環境清掃部は慌てて支離滅裂な答弁をしていました。まずは区の中で車付雇上問題を考える第一歩が踏み出せたと感じています。今までは「清掃事業のあり方」を理由に車付雇上を当局に押し付けられていました。しかし議会の中で「清掃事業のあり方」についての「見直し」という考え方が出されたのです。この第一歩を活かして、二歩、三歩とじっくり当局に迫って行きたいと思っています。



明けたということでは心機一転、そんな嫌なモノを吹き飛ばして猛進です！

昨年は区議会議員と車付雇上に関する勉強会を何度も行い、区議会で質問してもらいました。これにより他の区議会議員達も清掃事業に関心をもち始め、質問された環境清掃部は慌てて支離滅裂な答弁をしていました。まずは区の中で車付雇上問題を考える第一歩が踏み出せたと感じています。今までは「清掃事業のあり方」を理由に車付雇上を当局に押し付けられていました。しかし議会の中で「清掃事業のあり方」についての「見直し」という考え方が出されたのです。この第一歩を活かして、二歩、三歩とじっくり当局に迫って行きたいと思っています。

荒川支部今年も団結してガンバリウ！

# 北支部

## 委員長・豊田孝之

新年あけましておめでとうございます。

第二地連の組合員の皆様におかれましては、笑



顔で新しい年を迎えられたことを、心からお喜び申し上げます。北支部執行委員長の豊田と申します。

昨年、12月に行われた衆議院選挙において、自公連立与党が圧勝し、今後、国会での圧倒的多数を背景に、国会軽視、国民軽視とも言える国会運営により、国民生活に関わる重要課題を閣議決定することにより、労働者保護ルールを改悪し、労働者を成長戦略の犠牲にするような政策を閣議決定し、働く者を守る最低限のルールを壊そうとしています。

私たち、自治体労働者に対する民間委託や賃下げ攻撃が激しさを増しています。また、退職金の削減、高齢期雇用の問題など、重要な課題です。より良い区民サービスが提供でき、退職まで安心して働き続けられる職場づくりに向け、第二地連の仲間とともに、一致団結して今年もがんばっていききたいと思っています。



# 台東支部

## 委員長・横須賀博

明けましておめでとう  
ございます。

昨年の定期大会より台東支部執行委員長に就任しました横須賀です。2014賃金確定闘争では、業務職給料表水準引き上げ、一時金支給月数増の勧告通り実施を求め、さらに最重要課題であった切替調整措置の見直し等、本部・地連・支部が一体となり闘ってききました。妥結として勧告



通りの実施はもとより、区長会に切替調整措置の見直しを決断させたことは、組織の総力を挙げて、組合員が総団結した結果と言えます。しかし、区長会はいまだに業務職給料表は高い水準にあるとの認識です。労働条件の根幹である給与制度や任用制度を改善させるためには、さらに組合員が団結し、共に闘う事が必要・不可欠であるこ

とは言うまでもありません。

都区制度改革により清掃事業が区に移管され15年が経過しました。この間、各区の清掃事業は合理化により、資源・粗大のほぼ全てが委託されました。さらに車付雇上にみられる収集現場の委託化が進み様々な問題が露わになってきました。この様な状況の中、台東支部として今後の清掃事業を見据え、直営の堅持・優位性を示す立場から可燃・不燃の全区域戸別収集に踏み切りました。2013年度より3年間で随時拡大し、2015年は最終年度となります。現業職員の退職不補充方針は依然としてあります。戸別収集を実施するにあたり、必要人員確保を当局に求め新規採用を勝ち取ってききましたが、到達点ではありません。引き続き必要人員を求めています。

最後に組合員一人一人が退職まで安心して働き続けられる職場を作るため、団結し共に頑張りましょう。

# 文京支部

## 副委員長・有田孝保



第二地連の組合員の皆様、あけましておめでとうございます。

短い正月休みではありますが、ご家族と笑顔で新年をお迎えのことと思えます。

文京支部の「27年度人員要求」は、極めて厳しい情勢の中ではありましたが、連続して新規採用を獲得するという大きな目標を達成することができました。このことは組合員一人一人の誇りと責任を持った働きに対し、一定の評価をいただいたものと思えます。

今年も、文京支部の強い団結力を背景に組合員みんなで課題に取り組み前進してまいります。

今年の干支「未・羊(ひつじ)」は、「家族の安泰と平和の象徴です」。世界中での争いがなくなることを祈りつつ、私たちが退職まで安心して働き、生活できる職場を求めて、第二地連の仲間の皆さんと連帯・共闘して頑張っていきたいと思います。